

名古屋大学COI 最終成果報告会

「人がつながる “移動”イノベーション」



令和4年 3月14日

13:00 ~ 17:45
【12:30 受付開始】

参加無料

定員

ホール会場: 80名
オンライン: 1000名程度
*いずれも先着順

会場

東海国立大学機構 名古屋大学
東山キャンパス ESホール

お申し込みはホームページから
申込締切 ▶ 令和4年3月10日(木)

名古屋大学COI



www.coi.nagoya-u.ac.jp



問合先

東海国立大学機構 名古屋大学
未来社会創造機構COIアウトリーチ担当

Email ▶ info@coi.nagoya-u.ac.jp

「人がつながる “移動”イノベーション」

本拠点では、すべての人が自らの意思でいつでもどこへでも移動できることで、社会とのつながりを持て、人との絆が生まれることで、高齢になっても“元気に笑顔で活躍できるモビリティ社会”の実現を目指しています。本拠点では、高齢者と移動に関わる社会課題の解決を目指し、高齢者のwell-beingとこれと強く関連する「日々の健康」、「自由な移動」、「社会参加」に寄与する研究開発を進め、製品やサービス、社会システムの社会実装に取り組んでまいりました。

本成果報告会では、プログラム9年間の研究開発成果を中心に報告するとともに、ポストコロナ時代におけるトランスフォーマティブ・イノベーションについて考えていきます。

※名古屋大学COIとは、

2013年、文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」/国立研究開発法人科学技術振興機構「センターオブイノベーション(COI)プログラム」の採択を受け、10年後を見通した研究開発を産業界・大学・自治体と連携して推進しています。

プログラム

主催

東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構

※敬称略

13:00 ● 開会・主催者挨拶

開会挨拶
主催者挨拶

松尾清一（東海国立大学機構 機構長、名古屋大学 総長）
畔柳滋（名古屋大学COI プロジェクトリーダー、
トヨタ自動車株式会社 未来創生センターR-フロンティア部 担当部長）

13:15 ● 来賓挨拶

来賓ご挨拶

濱口道成（科学技術振興機構 理事長）
水野正明（ビジョン3 ビジナリーリーダー）
井上睦子（文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課 課長）

13:30 ● 研究・開発事業成果紹介

- 「地域ニーズに合った移動手段を住民と共創し、持続可能なモビリティ社会を実現」
報告者 金森亮、赤木康宏、三輪富生、中村俊之
- 「新しいモビリティサービスのための情報通信システム」
報告者 杉本修
- 「交通社会ダイナミックマップ ～交通状況をリアルタイムに把握する情報プラットフォーム～」
報告者 渡辺陽介
- 「ドライバの認知・判断・操作を支援する知能化モビリティ」
報告者 平山高嗣
- 「運転行動に関連する心身機能を幅広く継続的に収集・分析し、安全・安心で自由な移動の実現を後押し」
報告者 青木宏文
- 「RHMIを介した運転支援・振り返り支援による運転行動改善の試み」
報告者 田中貴紘
- 「健康・運転寿命の延伸プロジェクトー地域で展開するフレイル・認知機能低下予防対策」
報告者 葛谷雅文
- 「歩きたくなる気持ちを大事に、一人ひとりに最適な運動負荷を提供する歩行トレーニングロボット」
報告者 山田和範
- 「ウェルビーイングを支えるがん診断・分析デバイス」
報告者 小野島大介
- 「名古屋大学COIにおける総合知の活用 ～人文・社会科学的アプローチ～」
報告者 上出寛子、中川由賀

16:45 ● クロストーク

ポストコロナ時代におけるトランスフォーマティブ・イノベーション

モデレーター
登壇者

森川高行（名古屋大学COI研究リーダー）
角南篤（笹川平和財団 理事長、政策研究大学院大学学長特別補佐 客員教授）
梶川裕矢（ビジョン3 ビジナリーメンバー）
古賀伸彦（トヨタ自動車株式会社 未来創生センター長）
大谷朋広（株式会社KDDI総合研究所 執行役員）
松尾清一（東海国立大学機構 機構長、名古屋大学 総長）

17:35 ● 閉会挨拶

閉会挨拶

森川高行（名古屋大学COI研究リーダー）